

小海高等学校生活指導係発行

借りた物を返せない原因は

日々の生活習慣にある！



工芸室ではネクタイやリボンを忘れて登校してしまった諸君のために当日に限ってそれらを貸しています。本来なら家を出る時点で身嗜みを整え、制服をきちんと着用しているかどうか確認して登校すべきです。それが基本ではありますが、人間は時には忘れることがあります。そのために工芸室でも上記のような対処をしています。

ところが最近、貸したネクタイやリボンがなかなか返却されないということが起きています。もちろんその日のうちに工芸室へ借用物を返却できる生徒諸君もいるのですが、借りたまま何日も返却しない生徒もいるのです。なぜそうなるのか原因を考えてみました。

きちんと返却出来ない生徒諸君はおそらく「自分の物」と「他人の物」の区別がないのでしょう。時々廊下のロッカーの上に教科書等の教材が置き去りになっているのを見かけます。教材は大切な物です。自分のロッカーや机の中にしまっておくなどして管理しなければなりません。自分の持ち物には名前を書く。そうすれば誰の物かはっきりするし紛失した場合も見つかるかもしれません。このような理由から先生方は「教材には名前を書きなさい。ロッカーの上には物を置かないようにしなさい。」と指導されているのです。

自分の物に名前を書かない。どこにあるのかも確認しない。すると→自分の物をなくしてしまう。すると→人から借りる。そして→返却しない。すると→どれが誰の物か分からなくなる。そして→そのままにしておく。

ネクタイやリボンを返せない諸君は日頃の生活がこのようになっているから返せないのだと思います。自分の物と他人の物の区別をするなどということは常識の範疇です。区別が出来ないのは非常識です。

借りた物は返しましょう！

それ以前に自分の物は何か、そしてどこにあるのか、
しっかりと把握して毎日を過ごしてください！



7日より女子スラックス着用期間となります。

すでに生徒諸君も各クラス担任の先生方から聞いていることと思いますが、来週の月曜日（＝7日より）から女子生徒諸君は全員スラックス着用となります。ストーブの使用開始は再来週からですが、それより早くスラックス着用期間となります。2，3年生は昨年と同様だったので大丈夫だと思いますが、1年生は月曜日に向けてスラックスの用意をして下さい。なお、着用期間は来年の3月までとなり卒業式だけはスカートの着用を認めます。

また、これからの季節は寒くなります。スラックスの着用はもちろんですが、暖かい服装を心がけてください。